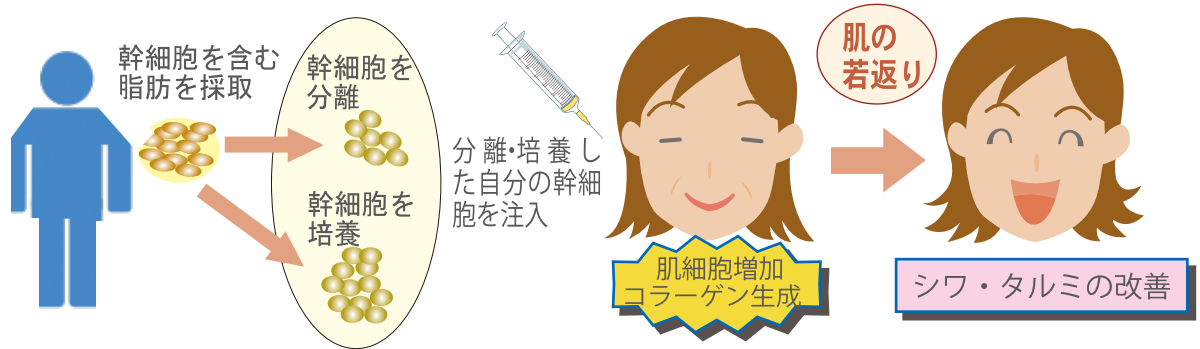


2 脂肪由来幹細胞補充セラピー

脂肪由来幹細胞補充セラピーは、腹部などの脂肪に含まれる**幹細胞**（脂肪由来幹細胞）を脂肪組織から取り出して分離・抽出（または培養）し、再び自分の肌に注入・補充することで、幹細胞の「肌細胞再生能力」を利用して、老化した肌を若い肌に戻らせるという、**究極の再生美容セラピー**です。



幹細胞の補充で究極の美容効果

幹細胞の移植による難病治療は、再生医療の現場ですでに実施され、高い成果をあげています。しかし、幹細胞移植は、治療目的ではまだ始まったばかりで、多くの未解課題を抱える最先端の医療分野といえます。

再生美容における幹細胞補充セラピーは、美容目的に限定した幹細胞利用という、より安全で簡便な施術に応用することで、より高い、究極の美容効果を得ようという画期的なセラピー法です。

幹細胞の美容への利用は、一部の医療機関などで始まっていますが、美容医療ではなく、美容セラピーとしての取り組みは、まだこれからで、再生美容セラピーとしての急ぎ確立が待たれます。

再生美容が取り組むことになる脂肪由来幹細胞補充セラピーは、次のような展開となります。

肌の若返りは幹細胞の再生がカギ

幹細胞は、自分と同じ細胞をつくる能力（自己複製能）と、複数の異なる細胞に分化できる能力（多分化能）をもった細胞です。そのうち受精卵からつくられるのが、身体のどんな細胞にも変身できる能力をもった胚性幹細胞（ES細胞）ですが、それ以外にも、体内のいろいろな組織をつくるもとになる**体性幹細胞**が、ほぼすべての臓器で見つかっています。

その幹細胞が、皮膚においても存在し、毛包のバルジ部分に毛や表皮をつくる幹細胞が、また、真皮には繊維芽細胞などをつくる幹細胞が見つかり、**皮膚幹細胞**として肌組織の成長、維持を図っていることが明らかになりました。

この幹細胞は、加齢や光老化などで減少し、その働き

